令和４年度茅ヶ崎市民文化祭俳句大会表彰者一覧表【第２部】

Ｒ４年10月３０日作成

順位	賞	総得点	得点	句番	受賞句	住所	氏名
1	三橋松童賞	22	14	28	銀杏の落ちて大樹の吐息かな	十間坂	岩崎絵美
			8	51	柿熟るる空は寂しき音ばかり		
2	茅ヶ崎市文化団体協議会会長賞	20	2	83	斑鳩の史跡巡りや柿日和	東海岸	松坂真理子
			18	118	阿夫利嶺の水を四角に新豆腐		
3	茅ヶ崎俳句連盟会長賞	18	9	12	農継ぐと孫の一言守り柿	芹沢	西岡青波
			9	66	立つよいしょ座るよいしょや暮の秋		
4	入選	18	12	3	柿すだれ甲斐も信濃も風甘し	中島	日高朝代
			6	60	秋風や白寿の母の旅支度		
5	〃	18	12	4	柿吊るすあとは陽まかせ風まかせ	今宿	清水呑舟
			6	61	看取りてふ二人の時間後の月		
6	〃	17	4	11	どの家もすずなりの柿過疎部落	香川	硲百合子
			13	70	ドラマ果つ南京豆の殻の嵩		
7	〃	16	6	7	故郷に残る茅葺き木守柿	平和町	松田ます子
			10	63	散りながら風のふくらむ大銀杏		
8	〃	16	5	16	柿渋や伊勢型紙の江戸小紋	菱沼	宮坂妙子
			11	110	梵鐘のうねり流離ふ秋夕焼け		
9	〃	15	10	20	妻の座は遠き日のこと秋刀魚焼く	旭が丘	八城湖楊
			5	57	てっぺんの柿に鳥声風の声		
10	〃	13	12	31	義母の歩に合わす生活や秋深し	浜之郷	粕谷説子
			1	40	大声で呼ばれバッグに柿重し		
11	〃	12	10	9	柿日和児らの秘密を風が聴く	香川	長島久江
			2	74	諦めて一つの区切り夜の長き		
12	〃	12	8	72	色変へぬ松千年の一里塚	浜之郷	渡辺武夫
			4	99	強そうな鳥をりけり子守歌		
13	〃	10	6	52	鐘鳴るや子規の机上に柿三つ	浜之郷	村上芳江
			4	102	立ち上る湯屋の煙や鰯雲		
14	〃	10	6	94	透くほどに灯に似たるかな熟し柿	矢畑	秋冨ちづ子
			4	122	火の如く我を浄めよ唐辛子		
15	〃	9	9	106	行く秋やボトルシップの帆の翳	松浪	坂口和代

席題　「柿」　「当季雑詠」

特別賞	句番		受賞者氏名
清水会長	31	義母の歩に合わす生活や秋深し	粕谷説子
硲顧問	118	阿夫利嶺の水を四角に新豆腐	松坂真理子
長島顧問	63	散りながら風のふくらむ大銀杏	松田ます子
八城顧問	69	曼殊沙華河童徳利の小出川	塚本治彦